

授業科目 解剖学実習Ⅱ

【担当教員名】 ○山田まりえ、千葉正司	対象学年	1	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：GIO＞】

人体模型標本、関節機能模型、人体骨格標本などを用いて、人体、特に筋系、関節・靭帯系を理解する。
人体組織、特に骨、軟骨、筋の微細構造を光学顕微鏡的に観察し、それらを理解する。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：SBO＞】

1. 主な関節を構成する骨、それらに付随する靭帯を観察・スケッチし、それらの名称、簡単な機能を説明できる。
2. 頭頸部・体幹の筋を観察・スケッチし、それらの名称を説明できる。
3. 上肢・下肢の筋を観察・スケッチし、それらの名称と機能を説明できる。
4. 骨・筋組織の構造を光学顕微鏡的に概説できる。
5. 系統解剖を見学し、人体の構造を3次元的に理解し、個々の身体の違いを実感する。
6. 体表解剖と内部構造の位置関係を把握する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	実習の概要とオリエンテーション		実習
2	骨組織・筋組織の顕微鏡観察とスケッチ	4	"
3	筋学1、2 頭頸部・体幹の筋の観察とスケッチ	2	"
4			"
5	筋学3、4 上肢・下肢の筋の観察とスケッチ	3	"
6			"
7	関節学 各関節の骨標本の観察とスケッチ	1	"
～	関節・靭帯学 各関節の機能模型を観察とスケッチ		"
9			"
10	体表観察1、2	6	"
11			"
12	系統解剖見学実習 新潟大学医学部	5	"
～			"
14			"

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のための解剖学	渡辺正仁	廣川書店	2000年 5500円
	ヴァーホルフ 人体解剖学アトラス	内野滋雄他	西村書店	8500円
参考書				
その他の資料	プリントの配布			

【評価方法】 実習の出席・態度、小テスト、レポート スケッチブック、筆記試験 の総合評価	【履修上の留意点】 実習は標本の数により、全員が同じ順序では行えないので注意すること。解剖実習Ⅰと同様に欠席をしないこと。系統解剖見学実習の日程は冬休み期間中を予定しているので、特に注意すること。
--	---